

**FM6IWA 改装手順** OK-32S/33S(1989年~1995年7月)改装用

**同様の手順で改装できるINAX製小便器洗浄システム**

1989年~1995年7月に製造された  
OK-32S/32SEシリーズ(正方形)  
OK-33S/33SEシリーズ(長方形)

**注意** 1995年7月~2001年6月に製造されたOK-32S/33Sシリーズは内部構造が異なり、本商品での改装が出来ません。

**改装前に以下の点を踏まえてください。**

- ・故障部分はセンサ部ユニット(基板部分)もしくは電磁弁で、バルブ部分は問題ない。
- ・バルブ本体、洗浄管、継ぎ手部の漏水、破損は見られない。
- ・バルブ本体の止水栓で止水、通水が問題なくできる。
- ・AC100Vタイプは端子の絶縁処理が必要です。

**注意**

- ・電気工事は有資格者(電気工事士)が行ってください。
- ・取替作業前に必ず元電源のブレーカーを切ってください。
- ・同梱のACアダプタは絶対に分解・切断しないでください。
- ・壁内配管部の劣化、漏水等がないか事前に充分ご確認ください。また、設置後も定期的な漏水チェックを推奨いたします。

**1 改装前**



元電源のブレーカーを切ってください。

**2 光電センサーを取り外す**



センサー本体を撤去してください。外したネジは手順16で使用します。

**3 止水栓を開める**



マイナスドライバーで止水栓(開閉ネジ)を開める。  
※内部に漏水がないか確認してください。

**4 銅管用固定ナットを外す**



スパナ等で銅管固定用ナットを外す。

**5 カバーの取り外し**



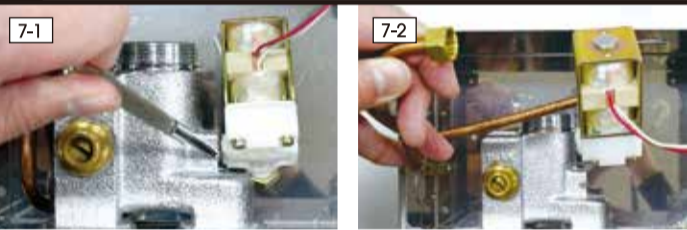
スパナ等でピストンバルブのカバーを取り外す。

**6 ピストンバルブの取り外し**



バルブ内のピストンバルブと中に残った部品を全て取り外す。

**7 電磁弁の取り外し**



電磁弁を固定していたネジを緩めます。

※ネジは手順9で使用しますので紛失しないようご注意ください。

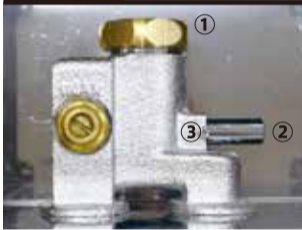
電磁弁、パイプ類を撤去します。

**8 電磁弁撤去後の状態**



2か所の穴ができます。

**9 重要 封水処理**



- ① 交換用フタ
- ② 封水パーツ
- ③ 既存のネジをそのまま使用

交換用フタを閉めます。(①) 続いて、封水パーツ(②)を穴に横から差し込み、電磁弁を固定していたネジ(③)を使って封水パーツを固定する。

※封水パーツを差し込む際、Oリングがかみ込まないようにご注意ください。かみ込んでしまった場合は予備のOリングを使用してください。※③の取付ネジは締め過ぎると漏水の恐れがあります。

**10 端子台に端子を接続**



既設の電源線を同梱の端子台に接続する。

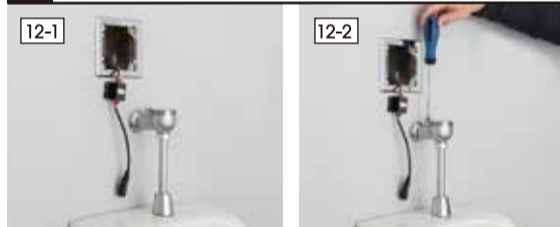
※端子変換は付属の丸型端子をご使用ください。

**11 既設洗浄管、ニップルの取り外し**



既設の洗浄管と壁側のニップルを取り外す。小便スパットはそのまま使用する。

**12 専用バルブの取り付け**



専用バルブを取り付ける。

止水栓が閉まっているか確認する。

**13 本体の取り付け**



本体をバルブにねじ込み、アンダーカバーを装着する。

**14 止水栓を開ける**



壁内の既設止水栓を開ける。  
※通水径路で漏水がないか確認してください。

**15 重要 ACアダプタの接続**



ACアダプタにソケットを差し込む。

※必ず同梱のACアダプタを使用してください。

**16 配線固定金具の取り付け**



手順2で外したネジを使い、枠内の右側2か所のネジ穴に配線固定金具を固定する。

右側のネジ穴

**17 パネルの設置**



チューブを引っ張った状態で、パネルの切り込み溝にチューブの凹部を差し込み、パネルをはめる。

**18 パネルの固定**



枠にパネルが均等に収まってから、付属のネジでパネルと配線固定金具を固定する。

**19 本体へ電源の接続**



本体上部にある電源コネクタにLプラグを差し込む。

**20 完成**



バルブの止水栓を開け、漏水がないか確認する。元電源を復電させ、動作確認を行う。



株式会社ミナミサワ

〒381-0044 長野県長野市中越 1-2-22  
Tel. 0120-786-800 Fax. 0120-263-403